

長野県流域下水道事業経営戦略(案)へのご意見と県の考え方

1 募集期間 平成31年2月18日(月)から3月19日(火)

2 意見提出数 1 件

3 ご意見と県の考え方

お寄せいただいたご意見	県の考え方
<p>【P20 下水汚泥の有効活用】</p> <p>処理場には多くの資源があつまる施設。汚泥を建設資材としての有効利用以外に農業資材(汚泥肥料)にしてはどうでしょうか？</p> <p>資源循環の観点からも汚泥肥料は炭素を土中に還元させる機能をもっており、循環型社会や脱炭素社会構築にも貢献する取り組みになると思います。また、消化発電の廃熱をビニールハウスの熱源にしたり、処理水で飼料米を栽培して動物を育てたり「農」や「食」と連携できるポテンシャルを処理場は持っていると思います。</p> <p>諏訪湖流域では移住者や地域おこし協力隊の活動が大変盛んだと感じています。アイデアやスキルをもった人たちと、公共施設である処理場をSDGsといった社会ニーズに応えつつ、エネルギー自立を達成しながら、市民が集う新しい付加価値(食育)をもった施設に作り変える。そのひとつとして、BISTRO下水道プロジェクトへの参画をしてはどうでしょうか。</p>	<p>本経営戦略は、「長野県流域下水道“ZERO”エネルギープラン」(平成30年3月策定)と整合を図ったものとしております。</p> <p>お寄せいただいたご意見については、上記プランにおいて長期戦略(将来のあるべき流域下水道の姿)の目指す将来のイメージ像として記載しており、いただいたご意見も踏まえながら取組を推進してまいります。</p> <p>(上記プランは以下の長野県ホームページをご覧ください。</p> <p>https://www.pref.nagano.lg.jp/seikatsuhaisui/infra/suido-denki/gesuido/zero.html)</p>